

2009年度

科目名	尺度構成法		
担当教員	井上 徹		
配当	人社3	コード	24570
開期	前期	講時	火曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	心理尺度のつくり方を学ぶ		
目的と概要	尺度項目の作成、予備調査の結果分析を通して、尺度構成の方法と手順を、理解することを目標とします。尺度構成の3つの代表的な方法を、統計パッケージによる統計分析を交えて、経験し理解していきます。まずそれぞれの方法における留意点を解説し、受講生自らが項目を作成し、予備的な調査を行います。予備調査のデータを、統計パッケージを用いていろいろな分析にかけ、各自が作成した尺度項目の信頼性、妥当性を考察します。		
成績評価法	各課題についてのレポート(70%) + 授業中のミニレポート(30%)		
テキスト	特に定めません。授業中にプリントを配布します。		
参考書	心理学実験指導研究会編 実験とテスト＝心理学の基礎(実習編) 培風館 1985		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 尺度構成についての基本的考え方 2. 尺度の信頼性と妥当性 3. サーストン法(1) サーストン法の解説と項目作成 4. サーストン法(2) 調査実施、コーディング 5. サーストン法(3) 項目の精選と尺度値の設定 6. サーストン法(4) 因子分析による因子的妥当性 7. リッカート法(1) リッカート法の解説と項目の作成 8. リッカート法(2) 調査実施、コーディング 9. リッカート法(3) 項目分析1-GP分析 10. リッカート法(4) 項目分析2-因子分析 11. ガットマン法(1) ガットマン法の解説と項目作成 12. ガットマン法(2) 調査実施、コーディング 13. ガットマン法(3) SP表を用いた結果分析 14. ガットマン法(4) 尺度項目の内的整合性 15. 尺度構成法についてのまとめ 			